

ウ ダストモニタによる大気中の放射性物質の濃度

原子力発電所からの予期せぬ放射性物質の放出を監視するため、周辺2か所のモニタリングステーションに設置したダストモニタにより、大気浮遊じんを連続で採取及び測定した。その結果を図-2-16から図-2-17に示す。

~~放射性物質の濃度の変動は、大気中の天然放射性核種の濃度の変動によるものであり、全ベータ放射能濃度の変動は、全ベータ/全アルファ放射能濃度比に大きな変動が見られなかったことから、大気中の天然放射性核種の濃度の変動によるものと考えられ、女川原子力発電所に起因する異常な放射性物質の濃度の上昇は認められなかった。~~

なお、全ベータ及び全アルファ放射能濃度がいずれも低い場合、わずかな濃度の変動によって濃度比が上昇する場合があります、一時的な濃度比の上昇は、このことに起因するものと考えられる。